

「これからの製造業のための生産計画」 セミナー開催

1994年の創業から2000社以上のお客様に生産スケジューラを導入いただきました。
その間にお客様のご要望を中心に多くの機能追加、改良を行ってきました。
今回は生産スケジューラの機能性面の紹介ではなく、グローバル化など製造業の事業環境変化を踏まえた
収益性の向上を牽引するスケジューラの活用、基盤整備について上岡先生にご講演頂きます。



2015年
日時：5月26日(火)

13:00 受付開始
13:30 開始 ▶ 16:10 終了

会場：有楽町 **東京国際フォーラム**
ガラス棟<4階>会議室G402

参加費：無償
(ただし1社2名様まで)

◎ 「グローバルサプライチェーン下で、リードタイムを優先する生産計画・SCPとは」

講演 13:30 ▶ 14:40 14:40からQA

グローバル市場が広がる中で、顧客の要求を満足し競争優位を確立していくためには、
生産から顧客への供給ルートを統合したSCMの最適化と収益性維持が課題となります。
本セミナーでは、顧客納期を満足する生産計画を実現するために、与えられた生産能力の中で
スケジューラを駆使した、生産計画とSCMの統合と計画段階での収益性の評価手法としての
キャッシュフロー方程式の活用効果を提起します。

講演者：上岡恵子

日本ユニシス株式会社
インダストリアルサービス
戦略ビジネス推進部 企画推進室
コンサルティング・マネージャ

休憩

◎ 「利益を増大させる生産計画」—あらゆる業種に通じる生産スケジューラの使い方—

講演 15:00 ▶ 15:50 15:50からQA

世の中には様々な業種の工場がありますが、「納期遅延をなくして顧客満足度を上げたい」
「在庫を減らしてコストを減らしたい」という目標は同じです。
これらの目標を実現し、利益を増大させる生産計画を立案する生産スケジューラの使い方をご紹介します。
また、複数工場を繋いだサプライチェーン全体の利益を増大させる生産計画の立て方についてもご紹介します。

講演者：アsproバ株式会社
開発マネージャ 田中智宏

AsprovaAPS, SCMIについて

生産スケジューラ Asprova は国内シェア58%、国内導入1607本、海外450本

Asprovaはほぼあらゆる製造業、もの作りの手法にプログラム開発の必要なしでマスターや様々な設定のみで利用でき、その多彩な機能に高い評価を頂いていますが、難しい、使い切れないという声もありました。今回のご紹介で皆様のスタートアップを早め、更に高いレベルで活用し業績を向上されることを願っております。



アsproバ株式会社

www.asprova.co.jp 電話 03-6303-9933 〒141-0031東京都品川区西五反田7-9-2 五反田TGビル3階